

【 のび太はドラえもんに頼ってばかりじゃない ～ AIとの付き合い方 ～ 】

令和5年7月10日

のび太についてどんなイメージを持っているだろうか？どうしても「なまけ者」「意志が弱い」等が浮かんでしまいます。でも、思い起こしてみると、のび太は取りあえず自分で課題を解決しようとしています（全力ではないが…）。一応、ジャイアンやスネ夫に立ち向かっているんです。しかし、力不足で克服できないのでドラえもんを頼る、しかも、なんとかしたいという一心で。でもうまくいかに…というパターンですね。他人に頼ってばかりだと、世の中そんなにうまくいきませんよ、というメッセージも取れます。このままのび太は常に誰かに助けてもらい、自分で考えて解決する力を持たない人間になってしまうのだろうか？逆にドラえもんがいなかったらのび太はどうなってしまうんだろう？ドラえもんも葛藤しているのです。自分のせいでのび太が成長しないのではないかと。昨今、身近になった生成 AI（人工知能）が話題になっていますが、学生はその渦中にあります。ドラえもんのように何でも質問や要望に答えてくれる生成 AI に簡単に頼ってしまい、成長に悪影響を及ぼす危険性があるからです。どら焼きを食べるドラえもんや現代の生成 AI はかけ離れすぎていて比べるのはどうかとも思いますが、人間の役に立つ人工知能であり、与えられたミッションをこなすと言う点では同じです。ちなみに、7月4日（火）に文部科学省から学校向けに生成 AI の利用に関する暫定的なガイドラインが提示され、そこには適切でない使い方と効果的な使い方が示されています。今後、AI とは上手に付き合いなさい、ということでしょう。ドラえもんが



悪いわけでもなく、のび太が全くダメだというわけでもありません。自主的・主体的に行動する意思の中でこそ人工知能を利用する価値があることを忘れてはなりません。自分の未来は自分で考えて切り拓くしかないので。のび太もドラえもんを助けてもらいながらではありますが、毎回、自分で頑張るべきところは頑張って成長しているんですね。